

2022年度 つむぎ 目白ルーム 職員アンケート改善策報告

いつもつむぎをご利用いただき、ありがとうございます。職員アンケートの結果および改善策の報告をいたします。
 今後も支援の質向上に努めてまいりますので、お気づきの点などございましたら、施設長またはスタッフにお気軽にお知らせください。

		質問内容	平均スコア	改善策・ご意見への対応について
体制設備・環境について	Q2	入口や支援室、カフェ、トイレなど、ルーム内は清潔、整理整頓され、子どもが活動するにあたり安全な環境であるか。	4.1	毎日の清掃と定時での消毒を行っております。気付いた箇所がありましたらすぐに清掃が出来るよう心掛けております。
	Q3	職員の配置数、職員の専門性は適切であるか。	4.6	サービスの質の向上のため、研修などを通して研鑽してまいります。
	Q4	業務中の休憩および休暇は適切に取れているか。	5.0	スタッフ同士が協力しあって、充分に取れるよう今後も行ってまいります。
	Q5	ルーム内の環境や支援員の人員体制について、ご意見をお聞かせください。		限られた人員ではありますが、研修などを通してサービスの質の向上に努めて参ります。
業務改善について	Q6	業務改善を進めるためのPDCAサイクルに、広く職員が参加しているか。	4.1	日々の業務の振り返りや月報にて月単位の振り返り、MBOにて半期ごとの業務の振り返りを行っております。
	Q7	保護者にアンケート調査等を行い、保護者の意向や意見を把握し、業務改善につなげているか。	4.0	毎年アンケートを実施しており、その結果をもとにミーティング等にて周知して業務の改善を図っております。また、事業所内での掲示やホームページ上にてご覧いただけます。
	Q8	この自己評価表の結果を事業所内掲示やホームページなどで公開しているか。	4.3	この自己評価は事業所内で掲示しており、ホームページ上でもご覧いただけます。
	Q9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4.0	内部監査を年に2回実施しており、法人のガイドラインに則った正しい運営を心掛けております。
	Q10	職員の資質、療育スキル向上のため研修の機会を確保しているか。	4.3	定期的に事業所内外にて研修を行っております。事業計画にも研修予定が記載しておりますのでそちらも合わせてご覧ください。
	Q11	業務改善について、ご意見をお聞かせください。		アンケートや研修を通して、日々の業務改善に努めて参ります。
適切な支援の提供について	Q12	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	3.3	法人指定の書式を用いてアセスメント・モニタリングを実施しております。
	Q13	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成しているか。	4.1	潜在的なニーズの抽出も踏まえ、適切にアセスメント及び支援計画の作成を心掛けております。
	Q14	グループ活動や個別支援のプログラムは、支援目標に沿ったものになっているか。	4.3	適切に目標設定し、お子さまの様子に合わせたプログラム立案を心掛けております。
	Q15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4.4	固定化しないよう、日々のミーティングにてスタッフで意見を出し合い、プログラムを決めております。
	Q16	プログラム開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる内容や役割分担について確認しているか。	4.9	必ず事前の打ち合わせを行い、プログラム内容や役割分担、ねらい、お子さまの様子の確認を行っております。
	Q17	支援終了後には、職員間で必ず支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか。	4.4	グループ支援後は必ず当日中に振り返りを行い、次回のグループ支援への改善に繋げております。
	Q18	日々の支援内容を正しく記録し、支援の検証・改善につなげているか。	4.6	一回の支援ごとに記録を作成しており、次回のご利用の際の検証・改善に繋げております。
	Q19	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適用期間内に次期個別支援計画の説明ができていますか。	4.6	半年に一度以上モニタリングを行い、お子さまにとって適切な支援が出来るよう努めております。
	Q20	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか。(自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供など)	4.3	日々の日課・基本活動を軸に、お子さまが楽しみながら学ぶことができるように日々の活動を組み合わせる検討しております。
	Q21	適切な支援の提供について、ご意見をお聞かせください。		適切にモニタリング・アセスメントを実施し、お子さまに合わせて作成された個別支援計画を基に、充実した支援が提供できるように努めて参ります。
保護者との関係機関や連携について	Q22	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4.3	個別支援・グループ支援共に支援後の振り返りの時間を活用し、保護者様と課題の共有を行っております。
	Q23	所属の幼稚園や保育園等と連携し、相互理解や支援のアドバイス等に努めているか。	4.3	関係機関連携加算を活用し、お子さまの所属されている園への訪問を定期的に行っております。
	Q24	児童発達支援事業所同士で連携をとり、情報共有、相互理解に努めているか。	4.3	適宜電話や担当者会議などで情報共有などを行い、事業所間での連携を図っております。
	Q25	児童発達支援事業所から放課後等デイサービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容などの情報を提供するなどしているか。	4.3	相談支援事業所などとも連携をとり、スムーズな就学に向けて情報を共有してまいります。

保護者と関係機関について	Q26	児童発達支援センターや発達障害者支援センターなどの専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	3.6	必要があれば相談支援事業所や保護者様を介したりしながら連携を取っております。
	Q27	地域自立支援協議会や社会福祉協議会など、地域連携を図るような会議に積極的に参加しているか。	3.1	地域の会議等に参加し、連携を図るように心掛けております。
	Q28	障害のない子どもと活動する機会を設けているか。	3.1	あおぞら保育での関わりや法人内のどろんこ保育園、公園での体験学習などを通して様々なお子さまとの活動する機会を設けております。
	Q29	事業所の行事に地域住民を招待するなど、地域に開かれた事業運営を行っているか。	3.3	新型コロナウイルスの影響により、地域の方との交流が難しい現状ですが、感染に留意しながらできる限りの交流方法を模索しております。
	Q30	保護者の子どもへの理解力・対応力の向上を図る観点から、保護者の状況に合わせた適切な支援を行っているか。	4.1	日々の支援の振り返りにおいて、ご家庭でも出来ることや助言などをお伝えするように心掛けております。
	Q31	関係機関や保護者との連携について、ご意見をお聞かせください。		コロナ禍において、限られた手段ではございますが、できる限り関係機関や保護者様との連携に努めて参ります。
保護者やお子さまへの対応などについて	Q32	契約、支援の内容、利用者負担などについて丁寧な説明を行っているか。	4.4	安心して通所いただけるよう丁寧な説明を心掛けております。
	Q33	保護者からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4.4	いつ、誰であっても相談に乗れるよう、日々の情報共有や研修にて支援の準備を行っております。
	Q34	保護者同士が集まれる場の提供など、保護者同士の連携につながる支援を行っているか。	4.1	新型コロナウイルスの影響により、対面での実施はできておりませんが、WEBなどを通して座談会を実施しております。
	Q35	子どもや保護者からの苦情があった場合、迅速かつ適切に対応しているか。	4.4	なるべく早く、適切に対応できるよう心掛けております。
	Q36	掲示物やホームページなどで、活動内容やイベント開催告知など、子どもや保護者に対して情報を発信できているか。	4.4	今後もより一層ブログなどを通して情報の発信をしていけるよう努力してまいります。
	Q37	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。(例:分かりやすい言葉がけをしているか、専門用語を使い過ぎていないかなど)	4.1	お子さま目線で話ができるよう心掛けております。
	Q38	個人情報の取扱に十分注意しているか。	4.6	鍵付きの書庫に保管し、十分に留意しながら取り扱いをしております。
	Q39	職員同士の連携や情報共有は適切に行われているか。	4.6	朝礼や終礼を通じて、情報共有するように心掛けております。また、業務日報などを活用しながら、スタッフ全員に情報が周知されるようにしております。
	Q40	保護者や子どもへの対応などについて、ご意見をお聞かせください。		保護者様やお子さまの心に寄り添った支援を今後も心掛けて参ります。
	非常時の対応について	Q41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを、把握できているか。	4.1
Q42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか。	4.7	月一回避難訓練を実施し、非常時に対応できるよう準備をしております。
Q43		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか。	4.7	定期的に東京都の虐待防止研修にスタッフが参加し、事業所内での伝達研修の機会を設けております。
Q44		ヒヤリハット事例集を作成して、事業所内で共有しているか。	4.4	事例集を元に共有・振り返りを行い、事故防止に努めております。
Q45		非常時の対応について、ご意見をお聞かせください。		防災訓練やマニュアルの読み合わせを通して、非常時に適切に対応できるように努めて参ります。
満足度について	Q46	子どもはつむぎに楽しく通っていると思うか。	4.6	”たのしくなければつむぎじゃない”を念頭に日々お子さまに提供できる支援を考えております。
	Q47	つむぎの支援を通じて、子どもの変化や成長を実感することがあるか。	4.3	今後も10より100のホンモノの体験を通して、お子さまの成長のお手伝いをさせていただきます。
	Q48	設問事項に関わらず、ご意見・改善点などなんでもお聞かせください。		今後もつむぎでの支援を通して、お子さま一人ひとりの”にんげん力”が育まれるように努めて参ります。

アンケート実施期間：2022年8月12日～9月5日

全回答数：7

つむぎ 目白ルーム
施設長 増田 義之